

令和3（2021）年度 事業報告書

特定非営利活動法人 海のくに・日本

1 事業の成果

令和3（2021）年度は、前年からつづく新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きかったことをまず、ご報告申し上げます。

前年の1月～3月に感染状況は深刻化し、緊急事態宣言が発令され日本国内のあらゆる活動が停止した。その後、いったんは落ち着きを見せたものの、令和3年1月から再び感染が拡大するなかで令和3年度の活動が始まった。

当会としては、コロナ対策を主として活動することとし、人が集まることは極力さけた形で事業を実施した。ただしIFPRIとの契約によるコートジボワールでのすり身ワークショップ活動は、契約期間の制約があり、またコートジボワールで新型コロナ感染は比較的、落ち着いた状態であったため、年度始まりの4月から年度末の3月まで12か月にわたり、できる限り事業を推進し、全うすることができた。また2016年度から巣鴨地蔵通り商店街とともに行ってきた「巣鴨くじら祭り」は、今年度は「くじら川柳」に特化して行うこととし、新しい形式で「クジラと日本人のかかわりの深さ」を広く紹介することとなった。

（1）「日本の伝統的な水産加工技術（すり身加工）を通して、アフリカの漁業コミュニティの生計をよりよくするプロジェクト＝（略称）すり身ワークショップ」

すり身ワークショップは、アイデアはNPO海のくに・日本独自のものであるが、今回の事業は米国の国際食料政策研究所（IFPRI）が日本外務省の予算を得て事業を推進し、NPO海のくに・日本はIFPRIの協力者としてワークショップ事業を実施する、という位置づけにある。

この事業は、令和2年度の1年間に実施する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大により事業期間を令和3年11月まで延期するようIFPRIが外務省に再申請し、令和3年度が事業のメイン実施期間となった。

令和2年度の前半において、事業の基本となる諸条件について関係三者間でオンライン協議を続け、11月にMOU（合意覚書）の署名に至った。関係三者とは、我が「海のくに・日本」、米国のIFPRI、及びコートジボワールのMIRAH（動物資源・水産資源省）である。MOUの有効期間は5年（2020年11月～2025年11月）と定められたが、予算は2022年3月末までしか確保できていない。この問題を解決するため、日本外務省等スポンサーへの働きかけが必要という認識を三者で共有し、努力をつづけることとしている。令和2年度の特には後半は、ワークショップのためのテキストの編集に専念し、3冊本が年度末に完成した。

そして迎えた令和3年4月30日、コートジボワールのアビジャンに全関係者が集い、漁業大臣臨席も下、あらためて仕切り直しの会合を開いた。そして夏から冬にかけて3回のワークショップを行い、200人の研修生を送り出すことで合意した。（研修生は当初400人予定であったが、新型コロナ感染拡大

防止の観点から200人に変更した。)また、今次事業で建設が予定されていた建屋(すり身研修センター)の建設に対し、全関係者で推進することを合意した。

その後、関係者がそれぞれの役割に応じて準備作業を行うこととし、NPO海のくに・日本は現地マネージャーに任命した[]をモロッコからアビジャンへ派遣し、現地でワークショップの準備を行った。同時に日本国内で講師陣を選任し、ワークショップのカリキュラムづくりを行い、7月から11月にかけてアビジャンで200人の女性を対象に魚の栄養学、すり身加工技術、マーケティングを教えるワークショップを開催することとした。

7月からワークショップは予定どおり進行したが、建屋建設が諸般の事情により大幅に遅れた。そのためワークショップは仮施設で実施した。10月初旬になり、ようやく建屋建設の目途がついた。12月には完成が予定されたため、海のくにはIFPRIや関係者と話し合い、最後のワークショップは年明けに新しいすり身研修センターで実施することとした。

令和4年3月、すり身研修センターの備品や設備が完成したところで最終のすり身ワークショップをアビジャンで行い、全235名のすり身ワークショップ研修生を輩出することができた。研修生は「魚をすり身にする」「加工品をつくる」「営業活動やPRに取り組み、すり身市場づくりを行う」ための能力とノウハウをひととおりに身につけた。また講師の役割を果たせる人材も現地に育てることができた。

ワークショップ開催中の令和4年3月21日、コートジボワールの[]、日本の[]ご臨席の下、開所式が立派に開催された。研修生がつくったすり身料理が来場者に供され、高く評価された。

(2)「クジラ食文化啓蒙普及＝巣鴨くじら祭り2021・くじら川柳大会、クジラの授業」

前年度は、巣鴨くじら祭りの多様な要素のなかで「1000人のくじら汁」に特化し、オンラインで実施した。令和3年度は「くじら川柳」に特化して開催し、発表の場を石巻市でのイベントとクジラについてのポータルサイト「くじらタウン」のサイト内とすることで、新たな境地を開くことができた。

くじら川柳の募集期間が例年の2か月間に比べ、今回は約半月という短いものであったが、こども部門1057作品、大人部門249作品、特別参加4作品をお寄せいただくことができ、意義深い事業となった。

また「クジラの授業」は当会発足前の平成12(2000)年からウーマンズフォーラム魚として実施してきたものであるが、令和3年度はコロナに配慮しながら小学校2校、栄養大学生向け1回、栄養士向けに2回の授業を実施できた。いずれも大いに喜ばれ、またこどもたちや大学生からの質問も多く、「若い世代や食に関わる人にクジラへの関心を深めてもらいたい」という目的は達成された。

(3)「われは海の子2021」

こどもたちの離島学習を新型コロナ禍のなかでも実施するために、離島へ渡ることにこだわらず、離島関係施設の訪問や学校での開催を念頭に準備を進め、令和4年1月に小学校での開催を模索した。しかし1月、オミクロン株の出現により、学校に外部の人間が出入りすることが難しくなり、また社会全体

にイベントに対する緊張感が増したため、残念ながら延期を決定した。

現在、離島を学び、離島の存在価値を広く社会に知らせるという原点を大切に、「日本の離島、世界の離島を学ぶ」という新しいカリキュラムづくりを進めるとともに、離島学習のためのテキストづくりを令和4年度にかけて行っている。

(4) 「水産資源の持続的利用の広報活動」

一般社団法人いわし普及協会、大日本水産会とともに、水産資源の持続的利用の価値や意味を伝える活動について計画をしたが、いずれも新型コロナ下であることから実施には至らなかった。

(5) 「COMHAFATと連携した西アフリカ漁村女性への自立支援活動」

COMHAFAT と提携して10年間つづけている西アフリカ22カ国の女性漁業者を支援する活動（ワークショップ）は、新型コロナウィル感染拡大の状況をみきわめながら、22カ国の女性漁業者（RAFEPメンバー）のリアルで集まる国、SkypeやZOOMで参加する国の両方を考えつつモロッコまたはコートジボワールでの開催を模索したが令和3年年度は実施に至らなかった。

(6) 「インターネット通販『浜チョコ』をとおして水産物の販売促進」

前年度に「令和2年度水産物販売促進緊急対策事業」として開設したインターネット通販サイト『浜チョコ』を継続運営することとし、いくつかの事業者と提携を模索した。そのなかで非常に熱心に取り組みを表明してくれたDOUMA社と提携し、継続実施している。

そのほかの事業について

- ・ウーマンズフォーラム魚と協力して実施している「浜のかあさんと語ろう会」は、新型コロナの感染状態が一進一退であったため、令和3年度は実施しなかった。
- ・こどもたちのための「海と魚を理解する絵本づくりプロジェクト」は、当会の設立動機でもあるが、新型コロナ下であるため、進展できなかった。
- ・水産エコラベルの普及活動は実施しなかった。 [REDACTED] がMELジャパンのアドバイザーボードメンバーとしてMELに広報その他、アドバイスした。

一連の活動は、ホームページを通じて広く発信することにも努めるものとする。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
漁村の活性化に関する事業	すり身ワークショップ 西アフリカ・コートジボワールの女性漁業者支援活動	4月～2022年3月	アビジャン(コートジボワール)	日本10名、アビジャン名	アビジャンの村女性235名	アビジャンの消費者含め1000万人	39758

令和3年度 活動計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人 海のくに・日本
(単位：円)

科目	金額		
I. 経常収益			
1. 会費収入			
会費収入	84,728		
われは海の子賛助会費	1,140,000		
協賛金収入	3,300,000	4,524,728	
2. 事業収入			
日本鯨類研究所 業務委託	5,654,320		
IFPRI	39,758,807	45,413,127	
3. その他収益			
受取利息	98	98	
経常収益計			49,937,953
II. 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
人件費	17,985,465		
人件費計	17,985,465		
(2) その他経費			
会場費	1,140,566		
調査員旅費	36,640		
委員旅費	16,330,458		
印刷製本費	1,524,380		
消耗品費	3,139,457		
謝金	1,281,124		
通信費	266,309		
試供品費	863,381		
送料・運搬費	48,925		
資料購入費	79,622		
委託費	6,229,786		
設営費	427,636		
進行管理費	339,438		
その他経費計	31,707,722		
事業費計		49,693,187	
2. 管理費			
(1) 人件費			
給与手当	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
消耗品費	525,908		
通信費	58,912		
雑費	102,156		
その他経費計	686,976		
管理費計		686,976	
経常費用計			50,380,163
当期経常増減額			▲ 442,210
III. 経常外収益			
経常外収益計			0
IV. 経常外費用			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			▲ 442,210
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増減額			▲ 442,210
前期繰越正味財産額			▲ 1,057,156
次期繰越正味財産額			▲ 1,499,366

令和3年度 貸借対照表

令和4年3月31日現在

特定非営利活動法人 海のくに・日本
(単位：円)

科目・摘要	金額		
I. 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	386,851		
未収入金	9,440,016		
流動資産合計		9,826,867	
2.固定資産			
(1)有形固定資産	0		
(2)無形固定資産	0		
(3)投資その他の資産	0		
固定資産合計		0	
資産合計			9,826,867
II. 負債の部			
1.流動負債			
短期借入金	11,326,233		
未払金	0		
流動負債合計		11,326,233	
2.固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			11,326,233
III. 正味財産の部			
前期繰越正味財産		▲ 1,057,156	
当期正味財産増減額		▲ 442,210	
負債及び正味財産合計			9,826,867

令和3年度 財産目録

令和4年3月31日現在

特定非営利活動法人 海のくに・日本
(単位：円)

科目・摘要	金額		
I. 資産の部			
1.流動資産			
現金預金			
東京三菱UFJ銀行普通預金590	326,479		
東京三菱UFJ銀行普通預金154	55,187		
東京三菱UFJ銀行外貨預金739	5,185		
未収入金			
IFPRI	9,440,016		
流動資産合計		9,826,867	
2.固定資産			
(1)有形固定資産	0		
(2)無形固定資産	0		
(3)投資その他の資産	0		
固定資産合計		0	
資産合計			9,826,867
II. 負債の部			
1.流動負債			
短期借入金			
未払金	11,326,233		
未払金	0		
流動負債合計		11,326,233	
2.固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			11,326,233
正味財産			▲ 1,499,366

令和3年度 年間役員名簿

令和3年 4月 1日から 令和4年 3月31日まで

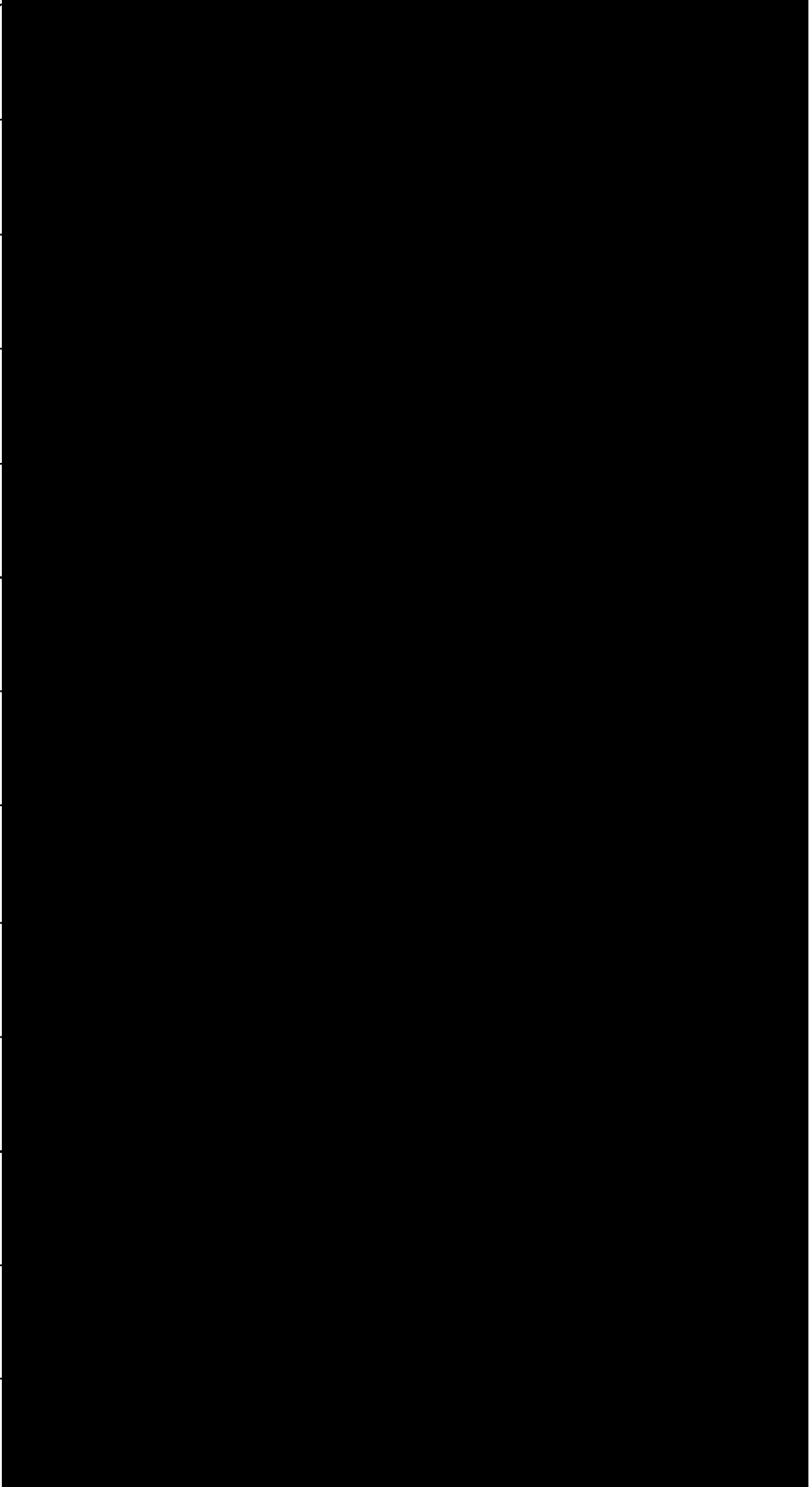
特定非営利活動法人 海のくに・日本

役名	氏名	就任期間	報酬を受けた期間
理事長	しらいし ゆりこ 白石ユリ子	令和2年4月1日 ～令和4年3月31日	報酬なし
副理事長	さとうあきこ 佐藤安紀子	令和2年4月1日 ～令和4年3月31日	報酬なし
理事	ひぐち えいじ 樋口 栄治	令和2年4月1日 ～令和4年3月31日	報酬なし
理事	たかぎ よしひろ 高木 義弘	令和2年4月1日 ～令和4年3月31日	報酬なし
理事	たにかわ なおや 谷川 尚哉	令和2年4月1日 ～令和4年3月31日	報酬なし
理事	やまもと とおる 山本 徹	令和2年4月1日 ～令和4年3月31日	報酬なし
理事	きたかわ こ 北川みわ子	令和2年4月1日 ～令和4年3月31日	報酬なし
理事	まかべ はつこ 眞壁 初子	令和2年4月1日 ～令和4年3月31日	報酬なし
理事兼 事務局長	おおのき とくじ 大軒 得志	令和2年4月1日 ～令和4年3月31日	報酬なし
理事	さえき りか 佐伯 理華	令和2年4月1日 ～令和4年3月31日	報酬なし
監事	おだ やすお 小田 康夫	令和2年4月1日 ～令和4年3月31日	報酬なし
監事	なかす いさお 中須 勇雄	令和2年4月1日 ～令和4年3月31日	報酬なし

社員のうち10人以上の者の名簿

令和4年 3月 31日現在

特定非営利活動法人 海のくに・日本

	氏名	
1	白石ユリ子	
2	佐藤安紀子	
3	樋口 栄治	
4	高木 義弘	
5	谷川 尚哉	
6	山本 徹	
7	北川みわ子	
8	眞壁 初子	
9	大軒 得志	
10	佐伯 理華	
11	小田 康夫	
12	中須 勇雄	